

プロもアマも同じ土俵で争えるカテゴリーだと考える

プロ化の前にやるのが山積み...まずはエントラントが出たい&ギャラリーが観たいと思う大会運営を...

コストに見合う効果が限定的です。関連業態の方には恩恵あると思いますが他業種の方では費用対効果に合わないと感じています。単純にジムカーナ競技でドリフトのように多額の資金をあつめるのは難しいと思うのですが、資金調達から還元まで仕組化し、選手にとってもスポンサーにとっても納得いく形になっていないと現状維持以上にはならないのではないかと思います。

ジムカーナに参加者の憧れの大会であるべき

参加型競技の参加ハードルを上げてはいけない。

どこからがプロかの定義が不明確ですが、ジムカーナのみで食べていける選手だけで大会を構成するのは無理だと思います。

素人が走っても集客力が無い。ドリフトは派手さも有るが、プロ選手の参加が多い。

夢が無いから

ショービジネスの部分を増やし、観客を呼ばないと全日本格式は廃れそう。

悪魔で趣味の範疇と思うから。

現実的な話とは思えない。プライベートとして参加している現状にもそれほど重大な金銭的不満を抱えていない。

ジムカーナの本質から外れる。アマチュアとの差が広がる恐れがある。プロ以外参加資格なしならよい。

プロとして成立するとは思えない。

プロ化される事により、プロドライバーによるパーツの開発が進み、下位ドライバーが安価で良いパーツが入手しやすくなる可能性が高まる。

目標としてあって良いと思う

プロに定義は**!**ある程度のレベルで参戦資格は決めた方が良いと思うが、プロ化は要らない。ドリフトのように参戦するための予選会をやったら、余計に参加者は減るだろうから、レベル分けも難しいかな

プロとして活動出来る選手は少ないと思われ、大会が成立しないと予想します。

エントリーフィーを大幅に上げる、もしくは数千万単位のスポンサーが運営者に投資する...という図式がなければプロ化は困難であると考えます。

参加者がいなくなる。

プロだけでエントラント数が確保出来るとは思えないため。

プロ化にすれば、参加選手が限定され、レギュレーションの厳格化にも繋がると期待する為。

そこそこの成績で参加出来なくなる

ただでさえ少ない競技人口がもっと減り、存続できなくなると思える

ジムカーナの原点は誰でも参加できるモータースポーツだと思うからです。その頂点が全日本というだけで、原点を忘れてはならないと思います。プロ化は希望するドライバーが自発的にやれば良いと思います。

ジムカーナが参加型モータースポーツであるため。

そんなにビジネスが大きくない。儲かるにおいがどこにもしない

プロのイメージや状態が具体的沸かない

参加型スポーツだからこそ良さがあると思ってます。

憧れがいるから
参加型モータースポーツの頂点であり、プロもいても良いが基本はアマチュアが良い。
プロ化したとしても、資金や時間面でアマと大きな差はついてほしくない
副業不可の会社勤めの人とかいると思うので、ちょっと厳しいかと思います。あと、プロ化したら団体としてガバナンスとか求められると思いますけど、それに耐えられるんですかね？
参加型Bライ競技には必要無いと思います。そもそもプロ化はかなり厳しいのでは？と思います。どこから資金調達するのか全く見えません。
プライベートがもう少しでも良いかと思います。敷居が高い
現在においてはニーズがあると思えない。ビジネスとして成立すると思えない。
ジムカーナはあくまで参加型モータースポーツであり興行ではない
プロの定義が不明のためどちらとも言えないと回答しました。
アマチュアスポーツであるジムカーナにプロは特に必要は無いと思う。しかし、全否定しているわけではなく、中にはジムカーナをプロとしている選手がいても構わないと思う。
プロイベントとして集客出来るような体制は出来ていないし、もしそうするのであれば、ドリフトのように膨大なコストの掛かるものになってしまうと予想されるから。個人で出来るJAF公認の最高峰イベントであって欲しい。
プロなきスポーツなど存在しない。それはただのお遊戯会
スポンサーがつくなど多くのハードルがあるとは思いますが、一旦さておきプロ化で目指す人は増えるのでは無いでしょうか。
プロで有る事の認識すら出来ない選手が必要以上の意見を言いコレからの選手に悪影響を及ぼしている現状からするとプロは不要である。プロフェッショナルな選手は2023年の全日本ジムカーナにおいて、山野さん・菱井さん・西原さん、関東地方選手権の岡野さんの4名だと思います
格式がある人気のスポーツにするため
プロドライバーを支えるほどの市場規模がないから満足にスポンサーが集まらないと思う。山野哲也さんもジムカーナ関連だけでプロドライバーとしてはやっていけないのだから。
プロ化して成立する収入が見込めるなら、プロ化すべきだが、まだ全くその様な環境になっていない。集客効果で多くの資金が集まる競技にするには、今の主催者利益至上主義のJAFの体制では実現不可能。JAFから離れた、ビジネスとしての興業組織として、多くの関係者にメリットの出る仕組みを作り上げることが出来れば、可能性が出てくると思う。
その原資はどこから？
プロ化した場合、給与の財源が現時点ではない為、非現実的。シリーズスポンサーや協会等の体制が整えば有りだが現状ではそれは不可能と思われる。
限られたプロだけで争う世界にし、アマチュアは地区戦以下にしたほうがジムカーナの将来を考えると有効では？
参加型ではあるがプロ化によるブランド化と、プロに勝つと言うモチベーション、自動車の競技でもメンが食べられると言う夢を与えられると思うから。
現実的ではないため。
参加資格をもっと厳格化してイベントの質を上げたほうが良いと思います
プロアマ混合が良いと思います。プロ組は他の競技でも活躍していただいて、ジムカーナの価値向上に努めていただければ嬉しい。腕さえあればアマからプロへ、ジムカーナから他競技へというようにサクセスストーリーが描ける環境になれば嬉しいです。

これから始めようとする人達の憧れの存在として、プロであればいろんな機会を作り出せると思う

上位に入賞すれば賞金他が支給(スポンサーからの報酬など)されるなら、再車検等(レギュレーション違反等)のジャッジが甘いので不正に金銭を取得している輩が存在しているのではないか(予想、想定等)。昔のサーキットなどの公式レースではEGまで分解すると聞いているので(古い人間なのでその当時の情報)。要は、車両のレギュレーションが曖昧で、オーガナイザーによりジャッジが揺らぐので。それが解消されればプロ化でもいいのでは。

参加台数が極端に減ると思う。

あくまでBライ競技だと思います。選手の格差が出て参加しにくくなる！

盛り上がりが必要でないかを感じる。

オーガナイザーが統一されてプロが行えば参加する側も自然についていく事になる

趣味でやるものなので。

今の全日本は100数十台が淡々と走り続ける単なる走行会だが、地区戦では物足りない人の受け皿としては機能している。ただ、台数も多く、レベルもバラバラで、とても観客に見せられる内容ではないので、一部のスター選手を集めたプロシリーズがあれば良いと思う。台数絞れば狭い会場でもアクセスの良い都心部等で開催も可能になる。スポンサーさえつければ、JAFのタイトル等は不要...と、夢は膨らむが、バブル期も含めてそうならなかったのが事実。上手にプロモーション出来れば可能性はゼロではないが、それを専門にやれる企業や団体がないのも事実。ましてや個人では無理。大半難しいと感じている。

やはり、プロがいれば、若手選手も、いつかは...と夢を抱き、憧れの存在というものがいる

プロ化された場合、参加出来るメンバーが限られ衰退する気がします。

プロ選手がいれば、若手ドライバーも増えてくると思います。

PNタイヤの開発競争激化が地区戦選手に負担が来てしまっている。タイヤメーカーが全日本を開発の場としているなら参加する選手もプロであるべきだし、車両も同様でPN車両なんて全日本には不要。改造車クラスでクラス数をもっと減らすべき。そうすれば地区戦以下はメーカー開発競争とは分離されアマチュアが参戦しやすくなる。(以下の設問はプロ化されない場合として回答します)

プロとプライベートの差が大きくなるから

プロ化できる様な収入が望めない

ジムカーナ競技はプロアマ関係なく、純粋にドライビングテクニックを競う場であって欲しい。

今後発展するにはプロ化が必要。

興行として観客を入れなければ、選手にアスリートとしての自覚が芽生えない。また、選手に対する適正な評価はされるべきである。

プロ化して参加出来る選手って、そんなにいるのでしょうか？

どちらともいえない、を選びましたが...全日本でチャンピオンを獲って、すごい方が多いのにも関わらずレースやラリーなどから劣ってしまうのでプロ化もありかな?とも思う反面。プロ化してしまうと、プロとアマチュアの境目を作るのが難しいのと...二分化されてしまいギクシャクしてしまいそうな気がします。